



～つながる学び ひろがる未来 夢を育む小中一貫教育～

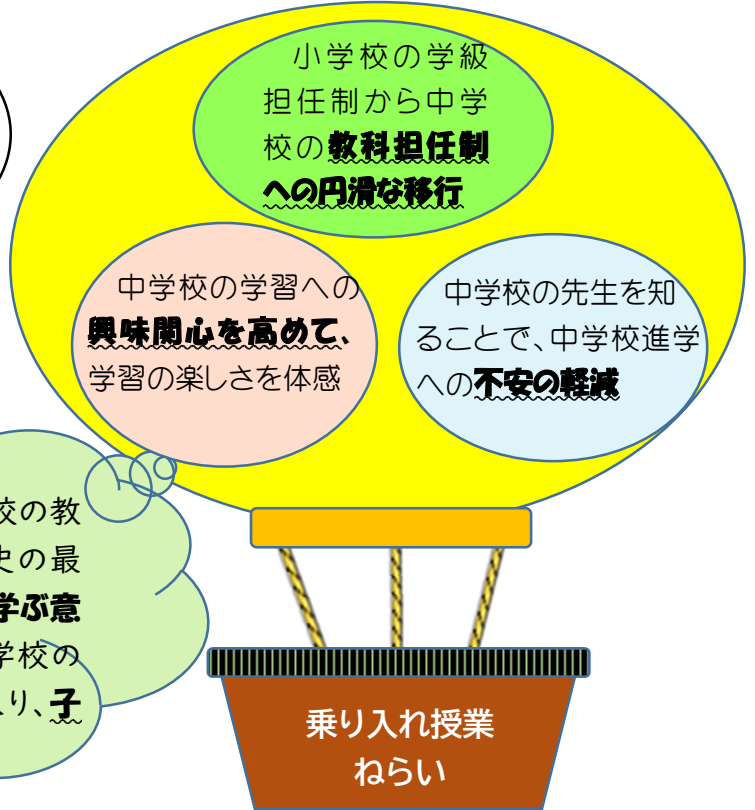
笠岡市教育委員会 教育改革推進室



笠岡市では、中学校の
教員が小学校高学年を対
象に乗り入れ授業を行っ
ています。



例えば、専門知識の豊富な中学校の教員が小学校6年生の社会科の歴史の最初で乗り入れ授業を行うと、歴史を学ぶ意味や歴史の見方・考え方など、小学校の学習に中学校の要素が無理なく入り、子供たちの学習意欲が高まります。



乗り入れ授業って、小学校だけにメリットがあるのですか？



いえいえ、中学校にとっても大きなメリットがあります。

乗り入れ授業を行うことによって、中学校の教員は、子供たちが小学校でどのように教
わって中学校に進学してくるのかを把握し、中学校での指導に生かすことができます。

また、小学生の児童理解にもつながり、中学校での指導に生かすことができます。

例えば、国語科では、古典の「竹取物語」が小学校5年生と中学校1年生に出
てきます。（「かぐやひめ」の名で知られているお話です。）

学習の主なねらいは、小学校5年生は「文語の文章を楽しみ、言葉の響き
やリズムをつかんで音読すること」、中学校1年生は「登場人物の関係や心情
の変化を捉えること」です。同じ教材でも、学年でねらいが変わってきます。

そこで、中学校教員が小学校5年生に「竹取物語」の乗り入れ授業をすると、小
学校でどこまで学んでいるのかがよく分かり、それを踏まえて中学校で指導するこ
とができます。



笠岡東中学校の社会科の先生が中央小学校・神内小学校の6年生に乗り入れ授業（笠岡東海成学園）

笠岡東海成学園では、今年度、笠岡東中学校の社会科の先生が2校の6年生に2つの単元で乗り入れ授業を行いました。子供たちは、中学校の先生の授業を楽しみにしています。



中央小学校での授業風景



神内小学校での授業風景

小学校と中学校の学習内容のつながりがよく分かりました。小学校の指導法も勉強になりました。（中学校教員）

・中学校の先生に教えてもらうと、内容が詳しくておもしろいです。

・中学校に入学して、〇〇先生がいるので安心！

（児童）

新吉中学校の先生が吉田小学校・新山小学校の6年生に算数・理科・外国語の乗り入れ授業（新吉学園）

新吉学園では、今年度、小学校6年生は算数・理科・外国語において、週1回、担任の先生と、中学校の先生がチーム・ティーチングで授業を行っています。



新山小学校での授業風景

分かりやすく教えてもらえる。分からなかったことが分かるようになってうれしい。（児童）

英語の発音や、知らなかったことをいっぱい教えてもらって授業が楽しい。（児童）

今、学習していることが、中学校の学習につながっていることを具体的に紹介することができました。（中学校教員）



吉田小学校での授業風景

小北中学校の先生による北川小学校の5年生への体育の乗り入れ授業



北川小学校は、小北中学校と連携教育を行っています。その教育活動の一端として小北中学校の先生による乗り入れ授業があります。

10月下旬に5年生の体育の「走り幅跳び」の乗り入れ授業が行われました。「助走・踏切・空中動作・着地」について、中学校の先生に楽しく分かりやすく教えてもらいました。そして、小学校で練習している「かがみ跳び」は、中学校の「反り跳び」「はさみ跳び」に発展していくことも教わりました。

放課後には、笠岡市学童陸上運動記録会に向けて「ハードル走」の指導も行われました。

子供たちは、中学校の先生の指導を受けることにより、中学校への期待感が膨らんでいます。